



分科会風景

## 分科会主旨

フィールドワークでは、素材を生かした建物を巡って職人技を体感し、事例発表では、杉の特性を生かした健康住宅について学んだ。

## フィールドワーク

**よしやまち町家校舎:** 大正元年建築の町家を改修し、専門学校の教材として活用。水ごね本聚楽の壁、拭き漆の欄間、べんがら塗りの黒い柱などが見られる。

**有限会社横山竹材店:** 竹を火で炙ると表面がホウロウ質になり、肌が美しくなる。京都の竹は硬く縮みにくい。秋に伐採し2~3ヶ月置いてから炙る。

**株式会社山崎商店:** 唐紙の絵具は、雲母とふのりを混ぜたものに色をつける。版木の上に紙を載せ紙の方を移動させて刷る。型の復刻にも力を入れている。

**澤井醤油本店:** 醤油仕込み樽を見学。

**山田香木店:** 香木の香りを楽しむ。



竹を炙ると表面が美しく



唐紙は版木に紙を載せる

フィールドワークでは、普段見ることのできない工房を訪れて、「勉強になった。」「とても良かった。」との言葉が多く寄せられた。

よしやまち校舎前



## C分科会 「健康住宅と素材」

司会 本間 恵美 (北海道建築士会)

アシスタント 山田 敬子 (京都府建築士会)

吉田 友子 (京都府建築士会)

出席者 43名 (他 近畿スタッフ6名)

## 事例発表

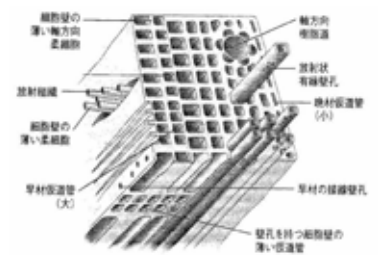
「低温乾燥の木材(スギスリット材)が  
室内の空気を浄化する」

コメンテーター 藤田 佐枝子 (有)ホーム・アイ)  
星 ひとみ (宮城県建築士会)

空気の質が体や健康に作用することに注目し、産官学のチームで研究を行った、日本固有の木である杉材の空気浄化機能について発表。杉材には大気浄化機能と、リラックス効果をもたらすテルペン類が多く含まれることがわかり、その効果を有効に作用させるために仮導管をあらわにするスリット材を開発。また、乾燥方法も重要で、45℃の低温乾燥が最も良いことがわかる。杉は調湿機能が強く、水分の移動による浄化作用は長期間続く。スリット材を使用した部屋からは、免疫力UPや安眠効果のあるセドロールや、呼吸器の薬として使われる - オイデスモールが検出された事もある。



杉スリット材



## まとめ

スリットが必要か? スリット材でなくとも、質の良い杉材であれば効果はある。(日本産が良い。)

集成材は? 木口があらわでも接着剤が良くない。

塗装は? 塗装はしない方が良い。柿渋を実験中。

スリット材は一般材より高価にしている。杉材に付加価値を付けて、子どもたちに山を残したい。

良いものをどんどん使っていこうとの意識付けが必要な時期では。 などの意見があった。